

第二五七回松山市観光俳句ポスト

第二五七回開函

「松山洪柿会」会長 玉井 翠陽 選

特選三句

小鳥来る子規鳴雪の顕彰碑

埼玉県越谷市 屋内 修一

月光をあまねく浴びて子規の像

愛媛県西条市 和田 正

温泉上りの人と分け合ふ伊予みかん

愛媛県西条市 丹 時子

入選二十句

錦秋に子規文豪の句碑に逢ひ

福島県須賀川市 五十嵐 照男

白椿虚子筆塚の卵石

愛媛県大洲市 板倉 肱泉

散紅葉歩けば句碑に出会ふ町

東京都狛江市 伊藤 三郎

この街が好きになりそう城に月

神奈川県足柄上郡 尾崎 武

冬の鴉子規の叫びの声ときく

京都府舞鶴市 杉本 よしの

子規堂や俳句に恋する秋の伊予

兵庫県神戸市 田中 祥夫

道後の湯明治の意気を感じけり

千葉県浦安市 鵜田 敦

藍がめのつぶやき聞かん機的女

岐阜県岐阜市 永井 伴子

のぼさんの青雲の志や柿二つ

千葉県柏市 広川 千恵子

遺髪塔糸瓜二三の供へられ

広島県福山市 松田 多朗

坊ちゃんの間はまだ秋の簾して

香川県三豊市 丸岡 裕子

石手寺の三本松葉波郷の忌

静岡県袋井市 山田 光雄

松山城こんど来るとき輿入れよ

京都府福知山市 山本 あつみ

秋の風温泉の香ぼっちゃん電車まで

大阪府松原市 吉村 美穂子

秋天や松山城に子規の風

東京都狛江市 若松 健三郎

(市内)

天高く城下見渡す天守閣

愛媛県松山市 岡崎 理恵

子規髪塔へちま三本供へをり

愛媛県松山市 重松 康弘

句碑なべて海に向きたり鹿の島

愛媛県松山市 毛利 喜勢

(十五歳以下)

リフトのり松山城が秋そまる

鳥取県米子市 岸岡 明日香

のぼさんの勉強机ひろいなあ

神奈川県横浜市 安本 梨花子

投句総数

市外 一六〇六

市内 一二九六

投句者総数

市外 三一〇

市内 八四五

市内 七二六

市内 一一九

開函日 平成二十四年十一月三十日